

2025年6月12日

各位

会社名 スターシーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木雅順
(コード番号：3083 東証スタンダード市場)
問合せ先： 管理部 堀中章弘
(TEL 03-6721-5891)

資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年2月9日付適時開示「第三者割当による新株式及び第4回新株予約権の発行に関するお知らせ」（以下、総称して「本発行増資」といいます。）で公表しました調達資金の使途（以下、「資金使途」といいます。）について一部変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2024年2月9日付適時開示「第三者割当による新株式及び第4回新株予約権の発行に関するお知らせ」2.「募集の目的及び理由」（1）「資金調達の目的及び理由」に記載のとおり、新型コロナウイルスの流行の影響により、長引く売上縮小に耐えうるコスト構造の構築と手元現金の維持を最重要課題として、赤字店舗の閉店や仕入圧縮と在庫の換金に向けたアウトレット販売の強化など、通常の経営方針から「守りの経営」へと早期にギアチェンジをすることで、企業体として十分に存続できる状態を維持してきました。そのうえで、今後の成長を図るためには、常に新しい価値を提供し消費者の選択を得ることが必要不可欠であり、早期に財務状態の改善が必要な状況であったため、本発行増資による資金調達を実施いたしました。

（1） 新株式の発行により調達する資金の具体的な使途について

- ① 本社移転費用につきましては、当初、2024年3月を支出予定時期としておりましたが、2024年8月9日付適時開示「『商号変更、本社移転及びこれらに伴う定款の一部変更に関するお知らせ』の一部変更について（開示事項の変更）」に記載のとおり、移転先および移転時期を見直したため、支出時期を変更いたします。
- ② 基幹システム更新費用につきましては、中長期的な企業成長に向けた重要な投資と位置付けております。当社では100%連結子会社チチカカとのシステム統合を見据えた新システム導入を検討してまいりましたが、本社移転時期の見直しおよび現行システムの運用継続が可能な状況を踏まえ、次期基幹システムの導入時期を再検討し、支出予定時期を変更いたします。
- ③ 新規事業（商品選別 AI 機器に関する事業）に係る費用につきましては、事業の中核的な役割を担っておりました植杉泰久前代表取締役の退任を受け、事業の継続的な推進体制を含めた再検討を行ってまいりました。

その結果、当該事業における技術的知見や外部ネットワーク、研究開発体制の多くが植杉氏の個人的資源に依拠していたことから、現時点において当社単独での事業開始は難しいと判断し、既存のアパレル事業における客数増加対策のため、衣料品や雑貨などの仕入代金への充当と、今後のエネルギー需要の変化や再生可能エネルギーの普及を見据えた成長戦略として新たに着手した系統用蓄電池事業への転換を決定いたしました。電力の安定供給に貢献し得る本事業は、当社の持続可能な成長を支える重要な柱と位置づけております。

(2) 変更の内容 (新株式)

変更箇所には下線を付しており、「変更後の内容」における括弧内の数値は2025年5月末時点における充当済み金額となります。

【変更前の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
①本社移転費用	100百万円	<u>2024年3月</u>
②基幹システム更新費用	100百万円	<u>2024年8月</u>
③新規事業 (商品選別 AI 機器に関する事業) に係る費用	<u>100百万円</u>	<u>2024年3月～2025年2月</u>
④当社子会社への増資	100百万円	2024年3月
合計	400百万円	

【変更後の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
①本社移転費用	(100百万円)	<u>2024年8月～2025年2月</u> (充当済み)
②基幹システム更新費用	100百万円	<u>2025年7月～2026年2月</u>
③仕入代金	(43百万円)	2025年5月 (充当済み)
③系統用蓄電池事業	57百万円	<u>2025年7月～2026年2月</u>
④当社子会社への増資	(100百万円)	2024年3月 (充当済み)
合計	400百万円	

(3) 新株予約権の発行により調達する資金の具体的な用途について

- ① 当社子会社に対する増資につきましては、新株予約権の行使が想定を下回っていることから支出予定時期を変更いたします。
- ② M&A資金につきましては、2024年6月13日付適時開示「資本業務提携契約締結に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社FEIDIASと資本業務提携契約の締結、2024年8月8日付適時開示「事業譲受に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社ゼアーの倉庫内作業録画ソリューション「テモトル」事業の譲受、また、2025年1月17日付適時開示「株式会社MF6の第三者割当増資引受による株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、同社の株式取得による子会社化に充当いたしました。

当初、大規模なM&Aを複数実施し事業拡大を目指しておりましたが、約1年数か月の検討期間を経て、実際の取得は上記3件、金額101百万円程度にとどまりました。これは、以下の要因が複合的に作用したためです。

1). 当社グループとの合致の難しさ

当社の戦略的方向性や企業文化と合致し、長期的なシナジー効果が期待できるM&A候補先の選定を慎重に行った結果、条件を満たす案件が限定的でした。

2). 予算規模に見合う案件の希少性

約19億円の予算規模に見合い、かつ当社の求める条件を満たす友好的なM&A案件は市場において限定的であり、短期間での実現は困難でした。今回の結果は、M&A戦略の重要性を否定するものではありません。当社の成長戦略に合致するM&A機会については、引き続き慎重かつ積極的に検討してまいります。ただし、安易な予算消化ではなく、真に価値のある投資にのみ資金を投入し、株主価値の最大化を図る方針を堅持いたします。

以上を踏まえ、当初計画の資金用途のうち総額18億33百万円につきましては、(4) 変更の内容(新株予約権)【変更後の内容】に記載のとおり、③系統用蓄電池事業(設備投資、用地取得、並びに業務提携などの資金)④新規ブランド展開資金(M&A、開発、開拓並びに仕入資金など)に充当する予定です。

(4) 変更の内容(新株予約権)

変更箇所は下線を付しており、変更後の金額における下段の括弧内の数値は2025年5月末時点における充当済み金額となります。

【変更前の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
①当社子会社への増資	400百万円	<u>2024年3月</u>
②M&Aに係る費用	1,934百万円	2024年3月～2026年2月
合計	2,334百万円	

【変更後の内容】

具体的な用途	金額	支出予定時期
①当社子会社への増資	(35百万円)	2025年5月 (充当済み)
①当社子会社への増資	365百万円	<u>2025年7月～2026年2月</u>
②M&Aに係る費用 当社グループの既存事業との相乗効果が期待できるAI企業「株式会社FEIDIAS」との資本業務提携	(30百万円)	2024年6月 (充当済み)
②M&Aに係る費用 検品システム等の開発・販売を手掛ける株式会社ゼアーより倉庫内作業録画ソリューション「テモトル」事業の取得	(30百万円)	2024年8月 (充当済み)
②M&Aに係る費用 SNS ライブコマースによる小売業を展開する株式会社MF6の第三者割当増資引受による株式の取得 (子会社化)	(41百万円)	2025年1月 (充当済み)
③系統用蓄電池事業	<u>1,350百万円</u>	<u>2025年6月～2026年2月</u>
④新規ブランド展開資金	<u>483百万円</u>	<u>2025年7月～2026年2月</u>
合計	2,334百万円	

2. 今後の見通し

今後、本件による当社連結業績等に影響を与える事象が発生すると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上